

ロボット支援膵切除術（暫定）プロクター基準

（日本肝胆膵外科学会、日本内視鏡外科学会）

プロクターはそれぞれの手術支援ロボットごとに設定する。令和 4 年 12 月 1 日現在、ダビンチ（インテュイティブ）、Hinotori（メディカロイド）の 2 機種を対象とする。

(A) プロクター基準

1. 日本消化器外科学会 消化器外科専門医である。
2. 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医・指導医または日本内視鏡外科学会技術認定取得者である。
3. 以下の術者経験を有する。

a) 1 機種目のプロクター条件

[ロボット支援膵頭十二指腸切除術の場合]

下記の①②のいずれかを本術式のプロクターとする。

- ① 開腹、腹腔鏡下、ロボット支援にかかわらず術者として膵頭十二指腸切除 20 例以上の経験を有する。そのうち、当該機種のロボット支援が 10 例以上含まれること。
- ② JSES 認定 Hinotori 胃切除（暫定）プロクターおよびダビンチによる膵頭十二指腸切除プロクター資格の両方を有し、Hinotori によるロボット支援膵頭十二指腸切除を 1 例以上術者としての経験を有する。

$$\boxed{\text{Hinotori 胃切除（暫定）プロクター}} + \boxed{\text{ダビンチ膵頭十二指腸切除プロクター}} \\ + \boxed{\text{Hinotori 膵頭十二指腸切除 1 例以上術者経験}} = \boxed{\text{Hinotori 膵頭十二指腸切除プロクター}}$$

[ロボット支援膵体尾部切除術の場合]

下記の①②③のいずれかを本術式のプロクター、④を暫定プロクターとする。

- ① 開腹、腹腔鏡下、ロボット支援にかかわらず膵切除（核出術以外膵切除部位を問わず）20 例以上の経験を有する。そのうち、当該機種のロボット支援膵切除術 10 例以上、ロボット支援膵体尾部切除 5 例以上が含まれること。
- ② ロボット支援膵頭十二指腸切除術のプロクター条件を満たした場合、腹腔鏡下膵体尾部切除を 10 例以上経験した者は、同じ機種のロボット支援膵体尾部切除術のプロクターを兼ねることができる。

補) 既にロボット支援膵頭十二指腸切除術のプロクター認定を受け、その役割を本学会から委嘱されている期間中に、同じ機種の腹腔鏡下膵体尾部切除のプロクター資格を追加申請する場合は、『ロボット支援膵体尾部切除術プロクター追加申請書』に必要事項を記載して日本肝胆膵外科学会事務局に届け出る。この場合、腹腔鏡下膵体尾部切除 10 例以上の術者経験が必要となる。

- ③ JSES 認定 Hinotori 胃切除（暫定）プロクターおよびダビンチによる膵体尾部切除プロクター資格の両方を有し、Hinotori によるロボット支援膵切除（PD/DP）を 1 例以上術者としての経験を有する。

$$\boxed{\text{Hinotori 胃切除（暫定）プロクター}} + \boxed{\text{ダビンチ膵切除 DP プロクター}} \\ + \boxed{\text{Hinotori 膵切除（PD/DP）1 例以上術者経験}} = \boxed{\text{Hinotori 膵体尾部切除プロクター}}$$

- ④ 一定の条件を満たした施設が本術式を導入する場合に限り、暫定プロクターが指導を行うことができる。⇒詳細は下記の（B）参照のこと。

b)2 機種目以降のプロクター取得

- ・ 2 機種目以降の当該手術支援ロボットについて、企業が定めるトレーニングを受講し、certified surgeon となる。
- ・ 2 機種目以降は当該機種による膵切除（部分切除以上術式を問わず）を術者として 4 例経験すれば、既に取得している 1 機種目のプロクター資格を 2 機種目に適用することができる。

(B) 暫定プロクター基準

プロクター基準を満たさなくても、適切な指導者がいれば安全な手術の導入が可能と考えられるため、下記のような暫定プロクター基準を定める。

ロボット支援胃切除術の JSES 認定プロクターは以下の条件を満たせば暫定プロクターとして同じ機種による膵切除術導入時の指導を行うことができる。暫定プロクターは学会への届け出は不要である^{注1)}。

[ロボット支援膵頭十二指腸切除]

腹腔鏡下膵頭十二指腸切除 5 例以上の経験を有する手術チームがロボット支援膵頭十二指腸切除を開始する場合。

[ロボット支援膵体尾部切除術の場合]

腹腔鏡下膵切除（核出術以外膵切除部位を問わず）5 例以上の経験を有する手術チームがロボット支援膵体尾部切除を開始する場合。

注1) この場合、手術施行施設は、手術指導者が『JSES 認定当該プロクター資格』を所持していること、自施設が別に定める『ロボット支援膵切除術導入に関する指針』における『術者条件』『施設条件』を満たしていることを確認すれば、肝胆膵外科学会に申請をする必要は無い。